未来への地図

全15回シリーズ

環境ビジネスへの挑戦⑥

リモートセンシング・GIS
環境保全対策のツール

有望視される環境ビジネス市場分野③

㈱オフィスメイ（エコビジネスネットワーク）
代表 安藤 眞

開発事業での環境アセスメント、自治体による地域環境計画の策定、森林管理、自然共生型公共工事などの機運が高まるとともに、人工衛星を利用した精度の高いリモートセンシング（遠隔観測）、もしくはGIS（地理情報システム）を含めたそれら精緻な観測データの解析技術が、環境保全対策のツールとして注目を集めている。

近年、高度500～800キロの人工衛星からセンサーなどで地表を観測するリモートセンシングのセンサー性能や解析技術が急速に進歩している。1972年に世界初の地球観測衛星「ランドサット1号」が米国により打ち上げられて以降、フランス、カナダ、インドなど各国がそれに続いた。日本でも将来、さまざまな目的で各種人工衛星の打ち上げが予定されている。最近では、地上にある1㎡の物体を見分ける高性能の商業観測衛星が米国で打ち上げられており、日本でも三菱商事の子会社が99年12月から商業衛星「イコノス」の衛星画像の販売を開始している。

これまで、こうした衛星データは大気、オゾン層などの観測のほか、資源探査、測量などの目的に利用されてきた。またGISとの組み合わせで保険会社の災害予測などに活用されてきた。そして今後、開発事業での環境アセスメント、都市の緑調査、治山、治水などの防災管理、水質汚染調査、森林管理、不法投棄監視など環境情報の収集・監視などへの利用も期待されている。

現在、すでに商業ベースで衛星データを活用しているのが環境アセスメント分野だ。環境アセスメント事業を手がける地域環境計画（東京都世田谷区）では、国内でいち早くGISシステムを導入、衛星データとの組み合わせで業績を伸ばしている。「近年、ミティゲーション（開発に際して環境に与えたダメージの代償埋め合わせ。例えば10㌶の森林を伐採したら、その代わり別の場所に同等の森林を作り出す）の概念が環境アセスメントで重要になってきており、より詳細かつ多面的な生態系の把握が必要になってきた。GISと衛星データの組み合わせで差別化の図れる提案ができるようになった」と高塚敏社長。環境アセスメント分野では今後、衛星データの利用は不可欠であり、商業ベースでの事業チャンスがあると話す。

また、国際航業（東京都千代田区）では、衛星データではないが01年秋から航空計測を活用して、植林など森林プロジェクトによる二酸化炭素の森林吸収量認証サービスを開始した。CO_2排出権取引に先立ち、森林吸収源の把握の分野でもリモートセンシング活用も視野に入ってきた。

米国では政府運用の衛星などの情報で有料のものもあるが、一定の期間が過ぎたものはフリーで公開されている。97～98年ごろからは、これら公開データをもとに企業が加工して付加価値を付けたデータを、また政府が買い取るという仕組みがスタートしている。行政費用の効率化とともに、NASDAQに上場した解析専門会社Vexelをはじめ、新規ビジネス育成に結びつけた。こうした政府の支援体制により、リモートセンシング事業は有望分野として捉えられている。

日本政府でも衛星に関する専門委員会はできているものの、今後の動向はまだ不透明だ。現状では、日本国内で環境分野におけるデータ解析会社は立ち上がっていない。その一つの要因がデータの価値とコストとのバランスだ。日本では宇宙開発事業団（NASDA）や㈶リモートセンシング技術センター（東京都港区）で衛星データの販売・提供を行っているが、一般向けの画像は1枚数万円から十数万円。前述の地域環境計画にしても解析データは、米国の解析専門会社から購入している。しかし、環境対応の高度化が進むにつれ、こうした精緻なデータが今まで以上に価値を持つことは間違いない。環境情報データの解析・販売事業としては、当面、政府や自治体、あるいは研究機関など公的分野に限られるが、やがて徐々に民間の環境アセスメント事業やコンサルティング会社などへ利用が拡大していくと予想される。

早期に3千人育成へ
配管基幹技能者認定委 賃金情報は収集・公開

配管基幹技能者認定委員会（委員長、鈴木実日空衛副会長）は、3団体に対する「配管基幹技能者の活用策に関する提言」をまとめた。3000人の配管基幹技能者の早期育成を目指し、制度を運営する3団体が配管基幹技能者を頂点とした現場技能者の有効活用に向けて取り組むべきテーマを投げかけていくことなどを求めた。

配管基幹技能者は、日本空調衛生工事業協会、全国管工事業協同組合連合会、日本配管工事業団体連合会で運営する基幹技能者。委員会は、提言を通して3団体がそれぞれの活動の中で、基幹技能者の有効活用に向けての取り組むべき活用促進策として①3000万円以上の建築物に伴う配管工事では、主任技術者または職長に優先して配置する②主任技術者として配置する場合は、施工体制台帳に同資格を記入する③現場での認知を図るため、胸にワッペンを貼る―などを挙げ、今後、切な役割分担を検討する必要性を指摘した。

処遇改善策は、配管基幹技能者の賃金情報を収集してこれを公開。国土交通省と建設業振興基金にも、基幹技能者賃金の積極的は情報公開を要請していくとともに、3団体で配管基幹技能者のモデル賃金を作成・広報することを求めた。

また、配管基幹技能者による現場施工体制が確立できる下請け契約では、割増歩掛りを明確にして積算に盛り込むか、配属経費を盛り込むことに取組む業と協同し、優秀施工者国土交通大臣顕彰（建設マスター）には、配管基幹技能者を優先して推薦。2000～3000人の配管基幹技能者が確保された段階で、建設業法の技術者制度に関する規定の改定、官庁工事での配管基幹技能者の配置の義務付けを積極的に働きかけるよう求めた。

15年度配管基幹技能者講習会
197人が合格

また、同委員会は、15年度配管基幹技能者認定講習会の合格者を発表した。202人が受講し、このうち197人が合格した。本県からの合格者が静岡と東京だったこともあって、今回は西日本からの受講者が少なかった。このため、16年度は大阪を講習会場に加えたい考えで、実施要領の詳

きょう、県庁で
県環境審水環境部会
県環境審議会水環境部

会は24日午前10時から、鹿児島市の県庁で開かれる。

孝は人が人となる道

この世で最も純粋で美しい情は、わが子に注ぐ親の純情である。子が親に孝養を尽くすことにより、親の愛情を知り、親の真心に触れる。そのとき親の純情が誘い水となり、子の純情が引き出される。孝行は親のためにするのではない。子自身が純情になる至上の道なのだ。親への感謝と敬の念をより一層高めよう。

きょうの天気

天気	風	降水確率
晴夕方から曇所一時雨	北のち南西	10％ / 20％
晴夜曇所一時雨	北のち南西	10％ / 10％
晴昼前から曇所一時雨	北東のち南	10％ / 30％
晴	北東のち南	0％ / 10％

降水確率：上段6時～12時、下段12時～18時

週間天気予報

《概況》向こう一週間は、天気は周期的に変わる。期間の初めと終わりは、気圧の谷や前線の影響で雨の降る日がある。

		鹿児島・種子・屋久地方			奄美地方		
日	曜	天気	降水確率	気温	天気	降水確率	気温
25	水	一時	60%	18° 8°	後一時	60%	20° 15°
26	木	時々	30%	13° 7°		40%	16° 13°
27	金	時々	20%	13° 2°	時々	20%	16° 10°
28	土	時々	20%	18° 3°	時々	20%	20° 12°
29	日		40%	19° 10°	時々	30%	21° 15°

行政動静
2月24日（火）

【県庁】
◦知事……在庁
◦副知事……在庁
◦土木部長……在庁
【鹿児島市】
◦市長……市内
◦木村助役……市内
【鹿児島国道事務所】
◦所長……午前
在庁、午後庁外
◦後田副所長……庁外
◦赤星副所長……午前
在庁、午後庁外
【川内川河川事務所】
◦所長……在庁
【大隅河川国道事務所】
◦所長……在庁
【鹿児島港湾・空港整備事務所】
◦所長……出張
【志布志港湾事務所】
◦所長……在庁
【日本道路公団鹿児島工事事務所】
◦所長……庁外

※予定が変更になることがありますので、ご了承下さい。